

## 市内220～222例目（県内399～401例目）の概要

令和3年5月13日公表

5月12日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに3名の方、市内220～222例目（県内399～401例目）となる感染者が確認されました。

感染者の状況については、別紙「新型コロナウイルス感染症の発生について」をご参照ください。

220例目から222例目の3名の方は、いずれも218例目及び219例目の濃厚接触者（店舗利用客）として、5月12日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

本日、220例目は37度台の発熱、咽頭痛の症状が、221例目は37度台の発熱、咽頭痛、鼻づまりの症状が、222例目は咳、頭痛の症状がありますが、いずれも軽症とのことです。

昨日は保健所の指導の下に自宅で待機し、本日13日に、220例目及び221例目は感染症対策を講じた県内の医療機関に入院される予定、222例目はすでに入院されました。

216例目を端緒として同一店舗に関する調査により判明した感染者は、あわせて6名となり、集団感染の発生が確認されたところ です。

なお、同店舗はすでに営業を休止しており、保健所の調査への協力により従業員、利用客は把握できています。

順次検査を行っていく中で、結果として複数の感染者が判明しており、今後の検査でさらに感染者が判明する可能性はありますが、本事案について感染の拡大の恐れは低いものと考えております。

220例目は、発症日2日前、5月7日以降の感染可能期間に、市内の勤務先に出勤されていますが、不特定多数の方への接客の機会があるような仕事ではなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

221例目は、発症日2日前、5月7日以降の感染可能期間に、市内の勤務先に出勤されており、接客の機会がありますが、勤務先で感染予防策を徹底されていることなどから、不特定多数の方へ感染の恐れがあるような接触はありません。聞き取り調査により接触者は把握できています。

222例目は、発症日2日前、5月8日以降の感染可能期間に、県外の勤務先に出勤されていますが、接客の機会があるような仕事ではありません。聞き取り調査により濃厚接触者はいないものと考えており、管轄の保健所に情報提供しています。

発症日2週間前（220例目：4月25日、221例目：4月25日、222例目：4月26日）以降の調査期間において、220例目は県外への移動歴はなく、221例目・222例目は、日常生活の範囲で県外への移動歴がありました。

今後も調査結果を踏まえ、必要な検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

発熱や咳などの体調不良時には、まず仕事や学校を休んでいただくことが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。

また、家庭内であっても、部屋を分ける、換気する、マスクをつけるなどの基本的な感染予防策をとるよう注意しましょう。

そして自己判断せず、すぐにかかりつけ医に相談・受診する、積極的に検査を受けるなど、万一に備えた対応をお願い申し上げます。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みに引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。